

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3	教科／科目	倫理	時間数	2
1学期中間試験					
単元名	第1章 自己形成と自己の生き方 第2章 人間としてのあり方生き方			使用教材	
単元の概要	青年期の課題と生き方を特徴に注目し、歴史に名を記した学者の考えを理化する。第2章の第1節より思想の原点としてギリシア思想を学ぶ。			詳述 倫理（実教出版）	
評価規準			単元内容		
究 活 礎	A3 青年期の特徴を基礎的用語を用いて、自身にどのように現れているかを考察できる。また、古代ギリシアの思想が現代世界にどのような影響を与えているかを、考察することができる。	B3 青年期の生き型の重要性を考察できる。また、古代ギリシアの思想が現代に見直される意義を理解できる。	C3 青年期の課題の仮説や、古代ギリシアの思想が現代にいかすことができるかを歴史から関連付けて発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題と自己形成 ・人間とは何か ・ギリシア思想 	青年期の課題は歴史上の学者の主張から理解することが求められるが、それが現代を生きる我々にも大いに生かすことができることを探求していく。
	A2 青年期の特徴を基礎的な用語から説明することができる。また、古代ギリシアの思想を主な学者の考えから説明できる。	B2 青年期の課題について自身の考えをまとめられる。また、古代ギリシアの思想について疑問を見つけて答えを見つけることができる。	C2 青年期の課題や古代ギリシアの思想が現代にあてはまるか否かについて、独自の答えを持つことができる。		
	A1 青年期の特徴を基礎的な用語から理解することができる。また、古代ギリシアの思想を主な学者の考えから理解できる。	B1 青年期の課題について疑問を持つことができる。古代ギリシアの思想の特徴について難題を見つけられる。	C1 青年期の課題について、自ら仮説を打ち立てられる。また、古代ギリシアの思想が現代にあてあまるか否かを考察できる。	その他	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	○社会時事の注目して単元の内容をあてはめて考える	

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3	教科／科目	倫理	時間数	4
1学期中間試験					
単元名	第2章 人間としてのあり方と生き方 第2節～第6節				使用教材
単元の概要	三大宗教ならびにユダヤ教について理解する。				詳述 倫理(実教出版)
評価規準			単元内容		
究 活 礎	A3 三大宗教・ユダヤ教が現代の世界全体にどのような影響を与えているかを、考察することができる。	B3 三大宗教とユダヤ教の歴史的経過について分析し、現在の世界各国にどのような影響を与えているかを関連付けて説明できる。	C3 三大宗教やユダヤ教が世界に発展、維持できているかを根拠をあげて、発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ユダヤ教 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 	世界三大宗教の成り立ちの過程とその教えの内容について理解する。また、ユダヤ教についてその教えの内容と他の宗教に与えている事柄について理解する。
	A2 三大宗教とユダヤ教から人間の生き方を説明することができる。	B2 三大宗教とユダヤ教がどのように発展し確立して来たかについてまとめることができる。	C2 三大宗教やユダヤ教がなぜ発展して来たかの仮説を自ら説明し、解決策を提示できる。		
	A1 三大宗教とユダヤ教から人間の生き方を理解することができる。	B1 三大宗教とユダヤ教がどのように発展したかについて問いを持つことができる。	C1 三大宗教やユダヤ教がなぜ発展してきたか、仮説を立てられる。		
			〈留意点・評価〉		
			○社会時事の注目して単元の内容をあてはめて考える		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3	教科／科目	倫理	時間数	18
1学期期末試験～2学期中間試験					
単元名	第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方 節 人間の尊厳 第2節 価値・技術と人間 第3節 民主社会と自由の表現			第1	使用教材
単元の概要	人間の尊厳について歴史の事象から理解する。			詳述 倫理(実教出版)	
評価規準			単元内容		
究	A3 人間の尊厳とは何かを歴史や学説から理解し、現代でどのような影響があるかを考査することができる。	B3 社会と世界で人間の尊厳をd度の尾のように扱い、また現代にいかにかかされてきたkを分析し、自身の答えを見つけることができる。	C3 ヨーロッパ世界の形成と発展について学んだこと、現代の諸課題と関連させて考え、発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳 ・科学・技術と人間 ・民主社会と自由の実現 ・社会と個人 ・近代的人間の見直し ・現代の暴力に対して 	人間の尊厳については、現代においても重要なテーマである。歴史から学び、我々の生活や考え方に参考になるものは何かを考える。
	活	A2 人間の尊厳とは何かを歴史と学説から説明することができる。	B2 社会と世界で人間の尊厳がどのように扱われて来たかについてまとめることができる。		
礎	A1 人間の尊厳とは何かを歴史と学説から理解することができる。	B1 社会と世界で人間の尊厳がどのように扱われて来たかについて問いを持つことができる。	C1 B2やB3で挙げた課題について、仮説を立てられる。	〈留意点・評価〉	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	○社会時事の注目して単元の内容をあてはめて考える。	

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3	教科／科目	倫理	時間数	17
2学期期末試験					
単元名	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚				使用教材
単元の概要	日本人の思想の根底にあるものはいつ頃形作られたものか。また、我々の考え方に、いかに影響を与えているかを考察する。				詳述 倫理(実教出版)
評価規準			単元内容		
究 活 礎	A3 古代日本人の思想に「神」と「仏教」がいかに影響を与え、我々の考えに影響を与えているか、考察することができる。	B3 古代日本仁雄生き方に古来の「神」と「仏教」の需要に加え、中国からの儒教の精神が大きく影響している現状に、アジアの中の日本であることを認識できる。	C3 日本お思想や信仰にはb、世界の諸国とは異なる寛容さが見られる。その要因はどこにあるかを各人が説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の需要と展開 	日本人の社会や生活には、世界の他国には見られない信仰や思想の寛容さが見られる。これは日本人の独特の価値観によるものだが、そこにはなぜ、という疑問が生まれる。この点を各人で仮説や答を導き出すことをテーマに置く。
	A2 古代日本人の思想における「神」と「仏教」の発展を説明することができる。	B2 日本人の生活に儒教の精神が根付き、今なお生き続けることの理解ができる。	C2 日本の思想にはどのような特徴が見られるかを理解し、説明できる。		
	A1 古代日本人の思想における「神」と「仏教」の発展を理解することができる。	B1 日本人の生活に儒教の精神が根付いているのはなぜかという疑問を持つことができる。	C1 日本古来の「神」の信仰に「仏教」や「儒教」が受け入れ、さらに思想に影響を与えたことを理解できる。		
			〈留意点・評価〉		
			○社会時事の注目して単元の内容をあてはめて考える。		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

学年末試験					
学年／コース	高3	教科／科目	倫理	時間数	6
単元名	第5章自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理・第6章社会と文化にかかわる諸課題と倫理				使用教材
単元の概要	現代社会における課題を倫理的に考える。				詳述 倫理(実教出版)
評価規準				単元内容	
究	A3	B3	C3	○自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 ・生命の倫理 ・環境の倫理 ・科学技術の倫理 ○社会と文化にかかわる諸課題と倫理 ・福祉の課題 ・文化と宗教の課題 ・平和の課題	これまで学習してきた内容を用いて社会での事象や課題を倫理的に考察する。
活	A2	B2 これまで学習した基礎的知識を活用して、考察し自分なりの意見を持つことができるか。	C2		
礎	A1 これまで学習した倫理的基礎知識について自分の言葉で説明することができるか。	B1 これまで学習した基礎的知識を活用して考察しているか。	C1 倫理的知見から今後の社会のありかたについて自分なりに考えを持つことができたいか。	〈留意点・評価〉 ○社会時事の注目して単元の内容をあてはめて考える。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		